

Blue **3210/3410**

User Manual

取扱説明書

사용 설명서

使用手冊

ご使用の前に、本書を必ずよくお読みください。
本書は紛失しないよう、大切に保管してください。
本書の最新版データは、www.blueair.jp に掲載されています。

注意：国により取扱モデルが異なります。

商品名：	品番：
3210	3231101000
3410	3431101000

目次

Blue 3210/3410 とは	20
各部名称	21
安全上のご注意	22
初めて使うとき	27
フィルターについて	30
お手入れをする	34
本体を廃棄するときは	36
アフターサービスについて	36
保証について	36
主な仕様	37

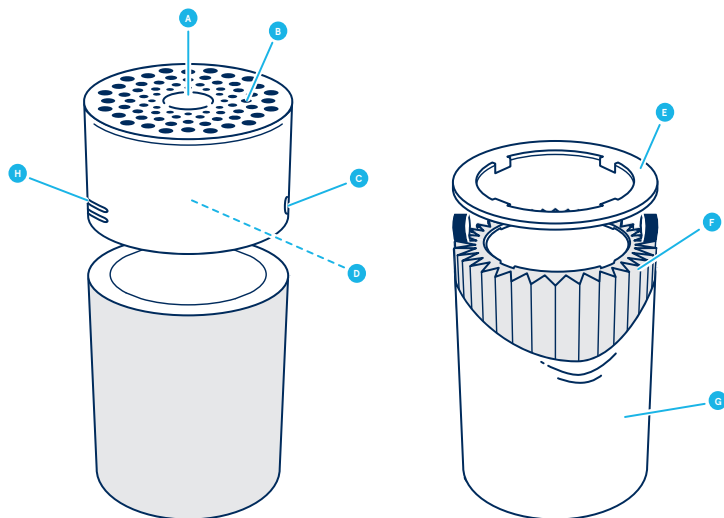
Blue 3210/3410 とは

空気清浄機を正しく使用すると、室内空気から有害物質を除去して、きれいな空気の中で生活することができます。

空気清浄性能を最大限に発揮するためには

- 推奨フロア面積を目安とした広さの空間でご使用ください。
- 本体周辺に空気が循環できるスペースを空けてご使用ください。
- 本体の周辺 10 cm 以内には物を置かないでください。
- 部屋の窓やドアを閉めた状態でご使用ください。
- Blueair の純正フィルターをご使用ください。
- 操作パネルにフィルター交換お知らせランプが点灯したら、メインフィルターを交換してください。
- 本書の内容に従って、定期的にお手入れをしてください。

各部名称



A 操作ボタン

B 吹出口

C 空気環境ステータスランプ

D ファン、モーター

E フィルターカバー

F メインフィルター (Particle+Carbon フィルター)

G プレフィルター

H センサー

I 電源コード (上図には記載されていません)

J 取扱説明書 (上図には記載されていません)

安全上のご注意

本商品は屋内使用専用です。安全を十分に考慮して設計されておりますが、一般に電気製品は取り扱いを誤ると大きな事故につながる可能性があります。次の注意事項をお守りになり、安全にご使用ください。

図記号について



指示

この行為を必ず実行してください。



禁止

この行為は禁止されています。



警告

次の警告事項を必ずお守りください。警告を守らずに使用した場合、火災や感電などにより使用者の死亡や大けがを伴う事故につながる可能性があります。



指示

煙が出る、変な臭いがするなどの異常、および故障時には、ただちに使用を中止する

そのまま使い続けると、発火や感電の原因になります。異常を感じた場合は、すぐに差込プラグを電源コンセントから抜き、「ブルーエアサービスセンター」へご連絡ください。



指示

差込プラグと電源コンセントの接続部分は、ホコリなど定期的に除去する
差込プラグにホコリがたまると、湿気などによる絶縁不良が起こり、感電や火災の原因になります。



指示

差込プラグを電源コンセントに差し込むときは、まっすぐに突き当たるまで差し込む

差込プラグが外れかけたまま使用すると、感電や火災の原因になります。



指示

電源コンセントから差込プラグを抜くときはコードを引っ張らず、必ずプラグを持って抜く
コードを引っ張ると、コードの中の電線が切れ、ショートによる感電や火災の原因になります。



指示

交流100Vで使用する

本商品は日本国内専用です。100V以外の交流電圧で使用すると、火災の原因になります。



指示

子どもが本商品で遊ばないように注意する

けがや故障の原因になります。事故の原因になります。



指示

子どもや身体、感覚または思考能力が低下していたり、経験や知識が不足している方は、保護責任者から指示、監督されない環境において使用しない

けがや事故の原因になります。



指示

水分がかからない場所に設置する
火災や感電の原因になる場合があります。また、ペットの尿や加湿器からの水蒸気などがかからないようご注意ください。



分解禁止

自分で本商品を分解や改造、修理しない

商品内部には電圧の高い部分があります。感電や火災の原因になりますので、分解や改造、修理をしないでください。



濡れ手禁止

濡れた手で差込プラグをさわらない

濡れた手で差込プラグを抜き差しすると、感電の原因になります。



禁止

付属の電源コードを本商品以外に使用しない

火災や感電、故障の原因になります。



禁止

付属の電源コード以外を使用しない

火災や感電、故障の原因になります。



禁止

運転中に電源コンセントから差込プラグを抜かない

火災や感電の原因になります。



禁止

電源コードや差込プラグに負荷をかけない(加工する、傷つける、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重い物を載せる、束ねる、挟む、ペットがかかるなど)

電源コードや差込プラグに負荷がかかることによる感電や火災、ショートの原因になります。



禁止

電源コードや差込プラグを熱器具に近づけない

感電や火災の原因になります。



禁止

電源タップや延長コードを使った「たこ足配線」で、定格を超えた接続をしない

電源コードや差込プラグの負荷が大きくなり、感電や火災の原因になります。



水濡れ
禁止

本体に水をかけない

火災や感電の原因になる場合があります。



禁止

吸込口・吹出口や本体のすき間に指や金属物などの異物を入れない
感電やけが、故障の原因になります。



可燃物
禁止

油や可燃性ガスなどを使用する場所、漏れるおそれのある場所に設置しない

引火や、ガス吸引による発火や発煙の原因になります。



禁止

次のような可燃性の高いものを本体に近づけない

- ・ヘアスプレーや殺虫剤など
- ・火のついたタバコや線香など
- ・ベンジンやシンナーなど

引火や感電の原因になります。



禁止

有機溶剤（ベンジン・シンナー・アルコール・ガソリンなど）を使ってお手入れをしない

故障の原因になります。



禁止

電源コードが破損した場合は、そのまま放置したり自分で修理したりしない

破損した状態のまま使用し続けると、感電や火災、ショートの原因になります。すぐに差込プラグを電源コンセントから抜き、「ブルーエアサービスセンター」へご連絡ください。



プラグを
コンセントから
抜く

長い間使用しない場合は、差込プラグを電源コンセントから抜いておく

差込プラグにホコリがたまると、湿気などによる絶縁不良が起こり、感電や火災の原因になります。



プラグを
コンセントから
抜く

フィルター交換やお手入れ、点検、本体の移動の場合は、運転を停止し電源を抜く

電源が入ったまま行くと、感電やけがの原因になる場合があります。



注意

次の注意事項を必ずお守りください。注意を守らずに使用した場合、使用者のけがや周辺の物品損害を伴う事故につながることがあります。



指示

壁などから10cm以上離して設置する
空気の流れが悪くなり、発熱や発火の原因になります。



指示

安定した水平な床面に設置する
本商品は床置き専用です。壁にかけたり、棚に置いたりはできません。万一、本製品が転倒すると、けがや家財破損の原因になります。



禁止

浴室など高温多湿、水のかかる場所に設置しない
火災や感電の原因になる場合があります。



禁止

動植物に直接風が当たる場所に設置しない
動植物に長時間風があたり、乾燥する原因になります。



禁止

カーテンや洗濯物で吸込口や吹出口を塞がない
発熱や発火の原因になります。



禁止

発煙または霧タイプの殺虫剤使用時には運転しない
本体内部に蓄積した薬剤成分が、再運転後に吹出口から放出され、健康を害する場合があります。殺虫剤の使用後は十分に換気をおこなってからご使用ください。



禁止

上に乗ったり、寄りかかったり、横倒にしたり、上に物をのせたりしない
転倒によるけがや故障の原因になります。



禁止

移動するときは、本体から外れる部分を持たない
落下によるけがや故障の原因になります。



指示

燃烧器具と一緒に使う場合は必ず換気する
本製品は換気が出来ません。そのため、燃烧器具から発生する一酸化炭素による中毒の原因になる場合があります。



指示

必ずブルーエア純正の付属品のみを使用する
火災や設置不良による事故、故障の原因になります。



禁止

フィルターを取り外した状態で稼働させない
集じん効果が得られない他、故障の原因になります。

使用上のご注意

フィルター交換お知らせランプが点灯したら、フィルターを交換する

交換をしないと、集じん効果が得られないばかりか、故障の原因になります。フィルターは使用頻度により交換の目安が異なります。詳しくは「フィルターについて」の項目をご確認ください。

ブルーエア空気清浄機純正の付属品やフィルターを使用する

純正の付属品やフィルターを使用しないと故障の原因になります。純正品以外の付属品やフィルターを使用して生じた故障は保証の対象外です。

フィルターは水洗いしない

集じん効果が低下します。

直射日光が当たる場所で使用しない

変色の原因になります。

フィルターを外したり、保護フィルムがついた状態のまま運転しない

集じん効果が得られないばかりか、故障の原因になります。

熱器具（暖房器具など）、熱い物の近くで使用しない

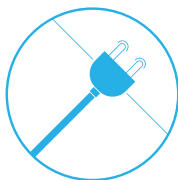
変色の原因になります。

使用中は、窓や扉を閉めて使用する

初めて使うとき

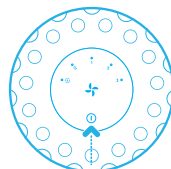
手順1

電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。



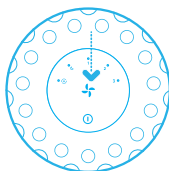
手順2

オン/オフボタンを押して空気清浄機の電源を入れます。



手順3

ファン回転速度ボタンを押して、ファン速度モードを調整します。



電源のオン / オフと風量調整

利用可能な設定：オート、ナイトモード、低速、中速、高速、オフ。

操作ボタンの上の表示ライトには、選択されたファン回転速度が表示されます。

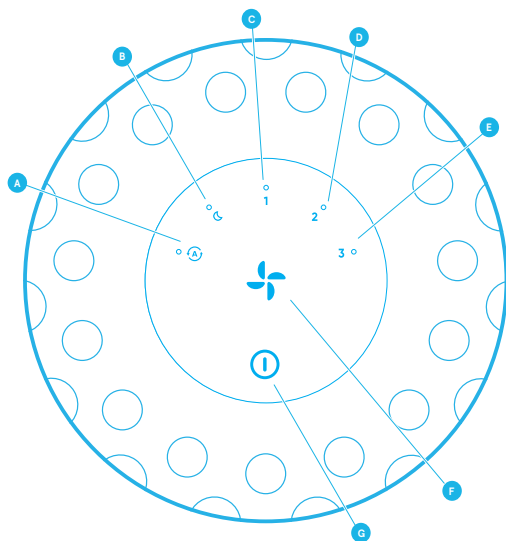
オートスタート機能

本商品にはオートスタート機能が搭載されているため、稼動中に電源コードが抜けたり、停電が発生した場合、再度電源が供給されると最後に設定されていた運転スピードで再稼動します。

オートモード

搭載されたセンサーで感知した室内空気環境に基づき、自動で本体の運転スピードを調整します。

操作ボタン



空気清浄機の電源を入れたら、ファン回転速度ボタンを押して、ご希望のファン回転速度に設定します。選択したファン回転速度はライトで示されます。

A オートモード

B ナイトモード(ファン回転速度(最低))

C 低速モード(ファン回転速度(低))

D 中速モード(ファン回転速度(中))

E 高速モード(ファン回転速度(高))

F ファン回転速度ボタン

G オン/オフボタン

空気環境ステータスランプ

粒子 (PM) の空気環境レベルを、以下のカラーで示します。

PM2.5 とは、直径 $2.5\mu\text{m}$ 以下の微粒子を示します。

空気質レベル (PM 2.5)

 汚れている

 ふつう

 きれい

フィルターについて

本商品には、布製のプレフィルターと、メインフィルターが装着されています。これらのフィルターにより、微粒子やtVOCなどを除去します。空気清浄性能を最大限に発揮するため、プレフィルターは定期的にお手入れをして、フィルター交換お知らせランプが点灯したらメインフィルターを交換してください。

交換用のフィルターについては、www.blueair.jp よりご確認ください。また、お手持ちの商品の品番は、本体に貼付されたラベルでご確認ください。

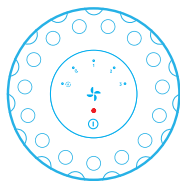
注意

空気清浄性能を最大限に発揮するため、Blueair 純正のフィルターをご使用ください。純正以外のフィルターを使用して故障した場合、保証の対象外となります。

メインフィルター交換お知らせランプ

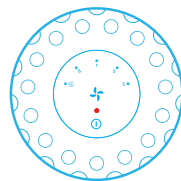
フィルター交換のお知らせ

LED が赤色に点灯したら、メインフィルターを交換してください（使用開始から約6カ月後）。



フィルターリセット

電源がオンの状態で操作ボタンを7秒間長押しすると、フィルター交換タイマーがリセットされます。

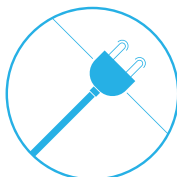


プレフィルターのお手入れと交換

空気清浄性能を最大限に発揮するため、プレフィルターは定期的にお手入れをしてください。掃除機にブラシなどのパーツを付けたもので、布製のプレフィルターの外側のほこりを取り除きます。汚れが気になる場合は、ベルクロを貼り合わせた状態で、ラベルに記載されている洗濯表示に従って洗濯してください。

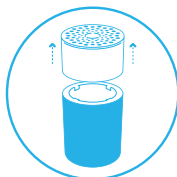
手順 1

電源を切り、プラグをコンセントから抜きます。



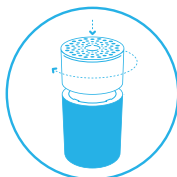
手順 3

本体上部を取り外します。



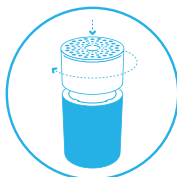
手順 5

プレフィルターのラベルに記載されている指示に従って洗濯し、しっかりと乾燥させます。



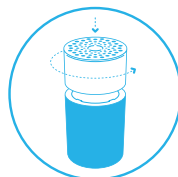
手順 7

本体上部を下にゆっくりと押しながら、時計回りに回転させ、本体内部の差込ロックにしっかりと固定します。



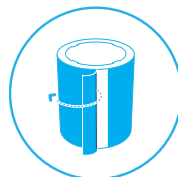
手順 2

本体上部を下にゆっくりと押しながら反時計回りに回転させ、本体内部の差込ロックを解除します。



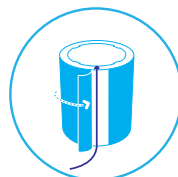
手順 4

ベルクロを剥がして、プレフィルターを取り外します。



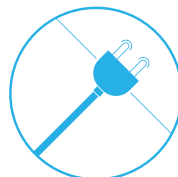
手順 6

本体背面の電源コードを巻き込むように、プレフィルターを本体に取り付けます。



手順 8

プラグをコンセントに差し込みます。



メインフィルターの交換

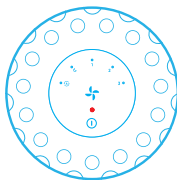
メインフィルターを交換する際は、掃除機などで本体内部にたまったホコリを取り除いてください。

注意

空気清浄性能を最大限に発揮するため、Blueair 純正のフィルターをご使用ください。純正以外のフィルターを使用して故障した場合、保証の対象外となります。

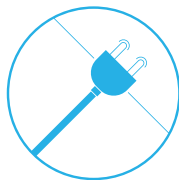
手順 1

フィルター交換お知らせ機能ライトが赤く点灯したら、メインフィルターを交換します。



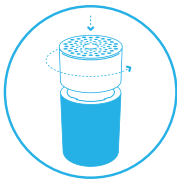
手順 2

電源を切り、プラグをコンセントから抜きます。



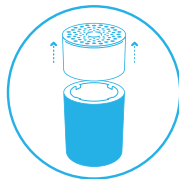
手順 3

本体上部を下にゆっくりと押しながら反時計回りに回転させ、本体内部の差込ロックを解除します。



手順 4

本体上部を取り外します。



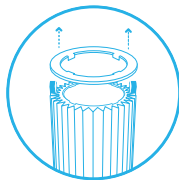
手順 5

ベルクロを剥がして、プレフィルターを取り外します。



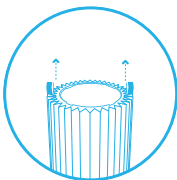
手順 6

フィルターカバーを取り外します。



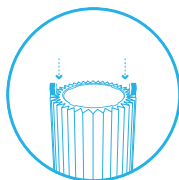
手順 7

フィルターのタブを持ち、上に引き上げてメインフィルターを取り外します。



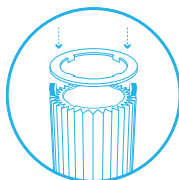
手順 8

フィルターのタブが上になるように、新しいメインフィルターを取り付けます。



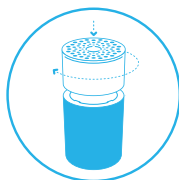
手順 9

フィルターカバーをメインフィルターの上に取り付けます。フィルターカバーはフィルター上部の破損を防ぐために必ず取り付けてください。



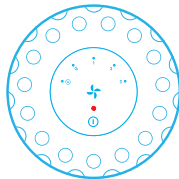
手順 11

本体上部を下にゆっくりと押しながら、時計回りに回転させ、本体内部の差込ロックにしっかりと固定します。



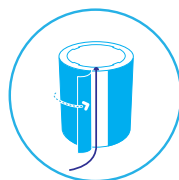
手順 13

電源がオンの状態で操作ボタンを7秒間長押しすると、フィルター交換タイマーがリセットされます。



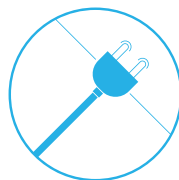
手順 10

プレフィルターを取り付けます。



手順 12

プラグをコンセントに差し込みます。



お手入れをする

お手入れする際の注意

- お手入れをする前には、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。
- 感電やけが、故障の原因になりますので、吸込口や吹出口、本体のすき間に異物を入れないでください。
- 故障の原因になりますので、有機溶剤（ベンジン・シンナー・アルコール・ガソリンなど）を使ってお手入れをしないでください。
- 濡れた布でお手入れをした場合は、電源コードをコンセントに接続する前に本体がきちんと乾いていることをご確認ください。
- メインフィルターは洗うことができません。

お手入れ方法

- プレフィルターは、掃除機にブラシなどのパーツを付けたものでホコリを取り除いてください。
- プレフィルターを洗濯する場合は、ラベルの洗濯表示に従ってください。
- 本体の外側は、水分を含ませて固く絞った清潔な布で拭いてください。
- 電源コードやプラグは、定期的に掃除して、破損していないことを確認してください。
- センサーは、本書に従って定期的に掃除してください。

センサーをお手入れする

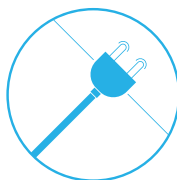
センサーは本体背面にあります。

注意

指や鋭利な金属などでセンサー内部を掃除しないでください。

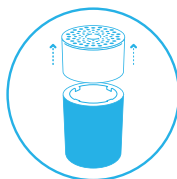
手順 1

電源を切り、プラグをコンセントから抜きます。



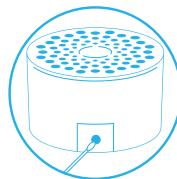
手順 3

本体上部を取り外します。



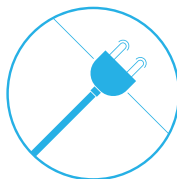
手順 5

綿棒でセンサーを軽く拭き取り、センサーカバーを取り付けます。



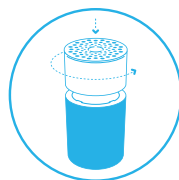
手順 7

プラグをコンセントに差し込みます。



手順 2

本体上部を下にゆっくりと押しながら反時計回りに回転させ、本体内部の差込ロックを解除します。



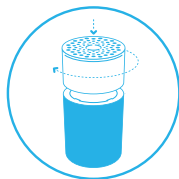
手順 4

本体内部にあるボタンを押して、センサーカバーを取り外します。



手順 6

本体上部を下にゆっくりと押しながら、時計回りに回転させ、本体内部の差込ロックにしっかりと固定します。



本体を廃棄するときは

本商品を廃棄する場合は分解せず、お住まいの自治体の指導に従ってください。

アフターサービスについて

困ったときや、消耗品をお求めの際は、www.blueair.jp をご確認ください。か、ブルーエアサービスセンターへお問い合わせください。

保証について

本書に記載された内容に従わず使用して故障した場合は、保証の対象外となりますのでご注意ください。

返品のご相談

商品の返品につきましては、お買い上げいただいた店舗へご相談ください。

主な仕様

	Blue 3210	Blue 3410
電源	100VAC 50/60Hz	100VAC 50/60Hz
消費電力	2-10W	3-35W
運転音 ¹	18-48 dB(A)	23-53 dB(A)
CADR 値に基づく推奨フロア面積 ²	17 m ² (190 ft ²)	36 m ² (388 ft ²)
CADR タバコ煙 ²	123 cfm (210 m ³ /h)	250 cfm (425 m ³ /h)
CADR - ホコリ ²	107 cfm (181 m ³ /h)	250 cfm (425 m ³ /h)
CADR - 花粉 ²	96 cfm (163 m ³ /h)	244 cfm (415 m ³ /h)

¹ GB/T18801 と GB4214.1 に基づく運転音

² ANSI/AHAM AC-1-2019 に基づき算出